

ILASセミナー：コミュニケーションデザイン(2)

授業回数はフィードバックを含め全15回とする。

なお、これらシステムの使用がはじめての入門者にも使いこなせるように配慮したカリキュラムと
するため、経験の有無は一切問わない。

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

各回授業において討論への積極的な参加と中間レポートを平常点（40%）とし、最終レポート提出
（60%）とを組み合わせる総合的に評価する。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）

安斎勇樹、塩瀬隆之『問いのデザイン』（学芸出版社、2020）ISBN:4761527439

宮野 公樹『問いの立て方』（筑摩書房、2021）ISBN:4480073701

【授業外学修（予習・復習）等】

日頃から異分野、異業種、異世代など、手法や価値観が異なる相手と協働し、議論する機会を意識
してもっておくこと。そこで得る違和感を言語化することが予習であり、本講義で得た技法を積極
的にその議論の場で試すことが復習である。

【その他（オフィスアワー等）】

児童生徒の能動的な学びを引き出す新しい学習環境デザインに関心のある学生、企業組織において
創造的なアイデアを生み出し続けるチームづくりやリーダーシップに関心のある学生、異分野異業
種の学生同士、専門家との議論の深め方に関心のある学生にとって、とくに本セミナーでの手法習
得が効果的だと考えられる。

【主要授業科目（学部・学科名）】